

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 13

神の有機的な救いの強化された働きの秘訣

聖書：啓第2章—3章. 1:4. 3:1. 4:5. 5:6

- I. わたしたちはキリストの満ち満ちた務めの三つの区分を見る必要があります：
- A. 第一の区分は、彼の地上での区分であり、肉体と成ることから彼の死に至るまで、肉体において法理的に達成されました。
 - B. 第二の区分は、彼の天の務めであり、彼の復活から千年期の終わりに至るまで、奥義的な領域において命を与える霊である彼によって有機的に成し遂げられます。
 - C. 第三の区分は、彼の七倍に強化された天の務めであり、召会の墮落から新エルサレムの満ち満ちた完成に至るまで、奥義的な領域において七倍に強化された命を与えるのである彼によって有機的に七倍に強化された方法で成し遂げられます。
- II. 七倍に強化された霊は、召会の墮落に打ち勝ち、勝利者を生み出すためであり、それによってキリストのからだが実際的な方法で建造されて、新エルサレムを究極的に完成することができます。新エルサレムは神の心の願いの唯一の永遠の目標です：
- A. 使徒パウロの務めが終了した時の墮落は紀元60年代頃に起こりました：
 - 1. アジアにいるすべての信者は彼から離れ去りました——Ⅱテモテ1:15。
 - 2. ヒメナオとピレトが、復活は済んでしまったと言いました——2:17-18。
 - 3. 使徒の同労者であったデマスが今の世を愛して、彼を捨てました——4:10。
 - 4. 銅細工人アレキサンデルが使徒に多くの悪事を行ない、使徒の言にひどく逆らいました——14-15節。
 - 5. 使徒の最初の弁明の時、彼と共にいて彼を支援する者はだれもおらず、みな彼を見捨てました——16節。
 - B. 使徒ペテロの務めが終了した時の墮落は紀元60年代頃に起こりました：
 - 1. 偽預言者たちは異端を教えて、主の贖いを否定しました——Ⅱペテロ2:1。
 - 2. 邪悪な者たちが真っ直ぐな道を放棄して、迷ってしまい、不義の報酬を愛したバラムの道に従いました——15節。
 - 3. あざける者たちがあざけて、主の再来を信じませんでした——3:3-4。
 - 4. 学びのない者や心の定まっていない者たちは使徒パウロの教えを曲解しました——15-16節。
 - C. 使徒ヨハネの務めが終了した時の墮落は紀元90年代頃に起こりました：
 - 1. 多くの反キリストが偽って、イエスがキリストであることを否定しました——Ⅰヨハネ2:18, 22。
 - 2. 多くの偽預言者が惑わしの霊によって、キリストが肉体において来られたことを告白しませんでした——4:1-2, 6。
 - 3. キリストが肉体において来られたことを告白しない反キリストである多くの惑わ

す者が、キリストの教えを踏み越えて教えました——Ⅱヨハネ7, 9-11。

4. 召会の中でかしらになりたがっているデオテレペスが、使徒たちを受け入れないで、邪悪な言で彼らをののしり、兄弟たちを受け入れようとする人たちを禁じて、召会から追い出しました——Ⅲヨハネ9-10。

Ⅲ. 七つの金の燭台の七つのともし火の輝きと、主イエスが火の炎のような七つの目をもって彼らのただ中を歩くことが示しているのは、わたしたちの日常生活と召会生活の中で、わたしたちが日々、主のさらに多くの輝きを必要としていることであり、それはさらに多く彼が牧養するためです。すなわち、彼が救い、回復し、復興し、神化するためです——啓1:14後半-15前半, 16後半, 4:5, 5:6, ルカ1:78-79, Ⅱコリント4:6-7, マラキ4:2, 箴4:18, 詩第22篇とその表題, 80:1, 3, 7, 15-19 :

A. 燭台の七つのともし火は神の七つの霊であり、それはエホバの七つの目（ゼカリヤ4:10）であり、贖う小羊の七つの目（啓1:4, 5:6）であり、建造の石の七つの目（ゼカリヤ3:9）であり、三一の神を満ち満ちた方法で表現します :

1. 「その霊がなければ、召会はありません。その霊が多くあればあるほど、召会もさらに多くあるようになります」（召会——その霊の複写、第2章）——参照、4:6。
2. 小羊の七つの目は、法理的な贖い主としてのキリストをわたしたちに注入します。石の七つの目は、有機的な救い主としてのキリストをわたしたちに注入します。その目的は、地上での神のエコノミー上の動きのためであり、彼の贖いを通して、彼の有機的な救いによって、彼の建造の目標へと到達することです——ヨハネ1:29, 使徒4:11-12, ローマ5:10, Ⅰコリント3:12。
3. 主の七つの目は、火の炎のようであり、注視し、観察し、探るため、照らし注入することによって裁くためです——啓1:14, 5:6, ダニエル10:6。

B. わたしたちの内側には二つのともし火があります。すなわち、わたしたちの霊の内側にある神の七倍に強化された霊です——箴20:27, 啓4:5, Ⅰコリント6:17 :

1. わたしたちは造り変えられるために、祈りの中で主に完全に開いて、七つの火のともし火をもった主のともし火に、わたしたちの魂のすべての部屋を探っていただき、わたしたちの内側の各部分の上で輝きそれらを照らしていただき、それらに命を供給していただかなければなりません——詩139:23-24, ルカ11:33-36。
2. 造り変えを最も多く経験する人は、完全に主に開いている人です——マタイ5:3, 18:1-6, マルコ10:15-16, ルカ18:17とフットノート。

Ⅳ. キリストの天の務めにおける七倍に強化された霊の動きは、神の永遠のエコノミーのためであり、それは以下の方法においてです :

A. 彼はエペソに在る召会の信者たちを救って、形式的な召会生活から離れさせ（このような召会生活は、主に対する初めの愛、燭台の輝く能力、命としてのキリストの享受を失っています）、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、神のパラダイス（王国時代における新エルサレム）にある命の木から食べるためです——啓2:1-7。

B. 彼はスミルナに在る召会の苦難を受けている信者たちを強めて、殉教によって迫害に打ち勝たせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代の期間に第二の死の害に

- 遭わないためです——8-11節。
- C. 彼はペルガモに在る召会の信者たちを聖化して、この世との結合から離れさせ、またバラムの教えとニコライの者たちの教えから離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代において隠されたマナを食べ、その上に新しい名が記されている白い石を得るためです——12-17節。
- D. 彼はテアテラに在る召会の信者たちを救い出して、偶像礼拝、淫行、悪鬼的な教え、サタンの深い事柄から離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に諸国民を治める権威を持つためです——18-29節。
- E. 彼はサルデスに在る召会の信者たちを復興して、彼らの死んでいる、また死にかかっている状況から離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に白い衣を着て主と共に歩き、そして彼らの名が命の書から消されず、御父と彼の御使いたちの前で主によって言い表されるためです——3:1-6。
- F. 彼はヒラデルヒヤに在る召会の信者たちを励まして、だれも彼らの冠を奪うことがないように彼らの持っているものをしっかりと保たせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に神の宮の柱となり、神の御名と、新しいエルサレムの名と、主の新しい名とが彼らの上に書き記されるためです——7-13節。
- G. 彼はラオデキヤに在る召会の信者たちを目覚めさせて、彼らのなまぬるさとキリストのない状況から離れさせ、彼らに勧めて、火で精錬された金、白い衣、目薬のために代価を払わさせ、また戸をたたいている主に対して戸を開かせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に主の座に着くためです——14-22節。
- V. 七倍に強化された霊なるキリストの語りかけによって、また霊の中に生きている勝利の聖徒たちの参加によって、わたしたちは墮落から救われます——2:1, 7-8, 11-12, 17-18, 29. 3:1, 6-7, 13-14, 22. 1:10. 4:2. 17:3. 21:10。
- VI. キリストの七倍に強化された天の務めは、キリストの花嫁（19:7-9）、花嫁の軍隊の形成（11-21節. 17:14）、サタンを拘束すること（20:1-3）、キリストと神の王国をもたらすこと（4-6節）、新エルサレムの究極的な完成（2:7. 21:2）を完全に備えるためです。
- VII. 最終の結果—贖う神と彼の贖われた人との宇宙的ロマンスの中で、手順を経た三一の神の究極的な完成である究極的に完成された霊が花婿となり、勝利を得た聖徒たちの集大成が花嫁となり、全聖書の結論となります——啓22:17前半, 14。